

2. 岡本研究奨励賞(Young Investigator Okamoto Award)

- 昭和 62 年度 津田 和志 博士 和歌山県立医科大学
「高血圧における神経血管性因子および膜異常」
武田 和夫 博士 京都府立医科大学
「脳内カテコールアミンノイロン」
中尾 一和 博士 京都大学
「ホルモン及び心房性ナトリウム利尿性ポリペプチドの意義と
その臨床応用」
山田 静雄 博士 静岡県立大学
「高血圧症と中枢アドレナリン受容体特性の解析」
高田 豊 博士 九州大学
「高血圧と血管内皮依存性弛緩物質の役割」
杉山 卓郎 博士 東京大学
「高血圧発症機序と血管平滑筋細胞内カルシウムイオン」
- 昭和 63 年度 丹羽 正美 博士 長崎大学
「SHR におけるペプチド性情報伝達物質受容体の解析」
笹原 正清 博士 滋賀医科大学
「高血圧下における大動脈内皮細胞の機能的変化に関する研究」
岡 芳知 博士 東京大学
「糖尿病における心房性 Na 利尿ホルモンおよび消化管ホルモンの
動態に関する研究」
武村 次郎 博士 宮崎医科大学
「インスリンの糖輸送促進機構の解析 特に糖輸送担体蛋白との関連」
- 平成元年度 雪村 時人 博士 大阪市立大学
「エンドセリンと腎プロスタグランジンに関する研究」
Dr. G.L.Engelman 米・クリーブランドクリニック
「SHR 新生仔における心臓の発達に関する研究」
- 平成 2 年度 佐久間一郎 博士 北海道大学
「内皮細胞由来血管平滑筋弛緩因子と高血圧」
富樫 廣子 博士 北海道大学
「SHRSP の病態生理と薬理学的応用」
- 平成 3 年度 太田 善夫 博士 近畿大学
「M-SHRSP、SHRSP における降圧剤の効果と血管病変治癒効
果との関係」
高橋 伯夫 博士 京都府立医科大学
「血管内皮由来の血管拡張因子の血圧調節に及ぼす影響」
福田 昇 博士 加・モントリオール大学
「高血圧症の血管平滑筋細胞の増殖と内因性 TGF の役割」

- 平成 4 年度 上山 敬司 博士 和歌山県立医科大学
「高血圧の交感神経機能亢進における神経成長因子の役割に関する研究—特に神経成長因子受容体の検討」
- 西 重生 博士 浜松医科大学
「糖尿病及びその血管合併症におけるグルコキナーゼ遺伝子異常の意義」
- 平成 5 年度 深水 昭吉 博士 筑波大学
「ヒトレニン・アンジオテンシン系遺伝子導入マウス—くば高血圧マウス—の創作」
- 荒井 宏司 博士 京都大学
「エンドセリン受容体の血管代謝における意義に関する分子生物学的研究」
- 平成 6 年度 伊藤 裕 博士 京都大学
「血管壁ナトリウム利尿ペプチド系」の臨床的意義に関する分子生物学的、発生工学的研究と、遺伝子治療への応用」
- Dr. Klaus Lindpaintner
「遺伝的に高血圧のラットにおけるナトリウム感受性に関連した第 6 染色体上の主要遺伝子座の同定」
- 森下 竜一 博士 大阪大学
「血管への *in vivo* 遺伝子導入法(HCJ-リポゾーム法)の応用による血管作動物質の機能解明と治療への応用」
- 佐藤 利昭 博士 島根医科大学
「脳卒中易発症高血圧自然発症ラット (SHR SP) における、糖尿病の骨粗鬆症促進」
- 山下 静也 博士 大阪大学
「コレステロールエステル転送蛋白 (CETP) 遺伝子異常の集積する地域集団の発見と、それに基づく CETP の臨床的意義に関する検討—Omagari Study—」
- 平成 7 年度 江頭 健輔 博士 九州大学
「冠循環の病態生理に関する臨床ならびに実験研究」
- 小川 佳宏 博士 京都大学
「脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)の循環調節における生理的、病態生理的意義に関する研究」
- 栗原 裕基 博士 東京大学
「発生工学によるエンドセリンの生理的役割の解明と心血管病の遺伝子治療への応用」
- 細田 公則 博士 京都大学
「Gene Targeting によるエンドセリンの成人血管病における病態生理的意義の研究」

- 宮内 卓 博士 筑波大学
「心疾患あるいは肺疾患による肺高血圧症におけるエンドセリ
ンの病態生理的役割の解明とその拮抗薬を用いた新しい治療
法の開発に関する基礎的研究」
- 平成 8 年度 岩井 直温 博士 滋賀医科大学
「高血圧及び高血圧合併症の成因解明」
- 北村 和雄 博士 宮崎医科大学
「新しい循環調節因子“アドレノデュメリノ”と“PAMP”の発見」
- 小室 一成 博士 東京大学
「高血圧による心肥大発生機序の分子生物学的研究」
- 斎藤 能彦 博士 京都大学
「心臓血管ホルモンの心室リモデリングにおける病態的意義に
関する研究」
- 松原 弘明 博士 関西医科大学
「分子・個体レベルでのアンジオテンシンⅡ受容体作用の解析
－転写調節核蛋白の同定と遺伝子操作動物を用いた研究－」
- 平成 9 年度 野出 孝一 博士 大阪大学
「心筋虚血における血管内皮由来弛緩因子の作用機構の解明」
- 向山 政志 博士 京都大学
「循環調節における心臓血管ホルモンおよび受容体の病態生理
的意義に関する研究」
- 山崎 力 博士 東京大学保健管理センター
「高血圧負荷及び液性因子負荷によって生じる心肥大・心不全
の発生機序の解析と治療法への応用」
- 平成 10 年度 石川 義弘 博士 横浜市立大学
「心血管系 cAMP シグナルの特異性に関する研究」
- 今村 武志 博士 (財) 癌研究会癌研究所
「血管の機能における TGF- β シグナルの役割に関する研究」
- 益崎 裕章 博士 京都大学
「肥満遺伝子産物（レプチン）の成人血管病における病態生理
学的意義に関する研究」
- 吉村 道博 博士 熊本大学
「冠攣縮の発症機序における分子遺伝学的研究」
- 柳内 和幸 博士 筑波大学
「本態性高血圧発症原因の分子メカニズム（アンジオテンシン
ノーゲンの遺伝子多型と発現への影響）」
- 平成 11 年度 勝谷 友宏 博士 大阪大学
「高血圧モデルラットおよびヒト集団を用いた高血圧感受性遺伝
子に関する研究」
- 寺田 典生 博士 東京医科歯科大学
「成人血管病の腎病変における MAP kinase family と細胞周期調節」

- 平野 賢一 博士 大阪大学
「動脈硬化防御機構、コレステロール逆転送系の分子機構に関する研究」
- 村澤 聰 博士 関西医科大学
「心血管病態におけるアンジオテンシンⅡ受容体作用の解析
(分子・個体レベルでの検討)」
- 矢富 裕 博士 山梨医科大学
「活性化血小板由来生理活性脂質スフィンゴシン 1-リン酸の
血管生物学における役割の解明」
- 平成 12 年度 加藤 規弘 博士 帝京大学
「高血圧ラットおよびヒトにおける高血圧の分子遺伝学的研究」
- 佐田 政隆 博士 東京大学
「血管内皮細胞上 Fas リガンドによる炎症細胞血管外浸潤の制御に関する研究」
- 沢村 達也 博士 国立循環器病センター研究所
「内皮細胞の酸化 LDL 受容体 (LOX-1) の発見とその意義の解明」
- 室原 豊明 博士 久留米大学循環器病研究所
「細胞移植による血管新生療法 一再生医学への応用一」
- 森 潔 博士 京都大学
「成人血管病とその腎合併症における細胞外機能分子の意義の解析」
- 平成 13 年度 市來 俊弘 博士 九州大学
「アンジオテンシンⅡ受容体の発現制御機構とその機能解析」
- 酒井 寿郎 博士 東北大学
「転写調節因子 SREBP によるコレステロールホメオスタシス
機構の分子生物学的解明」
- 寺内 康夫 博士 東京大学
「発生工学を用いた 2 型糖尿病の分子機構の解析」
- 平成 14 年度 富田奈留也 博士 大阪大学
「難治性腎疾患に対する遺伝子導入を応用した治療ストラテジーの確立」
- 西川 武志 博士 熊本大学
「糖尿病性血管合併症の新規発症機序の同定」
- 三木 隆司 博士 千葉大学
「ATP 感受性 K⁺チャネルの生理的役割の解明と病態モデルの作製」
- 柳田 素子 博士 科学技術振興事業団
「糖尿病性腎症の進展増悪因子 Gas6 の機能解析」
- 山下 潤 博士 京都大学
「胚性幹細胞(ES 細胞)を用いた新しい in vitro 血管分化系の構築と血管再生への応用」
- 平成 15 年度 小島 宏建 博士 東京大学
「一酸化窒素感受性蛍光色素の創製」

- 真田 昌爾 博士 日本学術振興会 特別研究員
「慢性 NO 産生阻害ラットを用いた高血圧性心肥大の分子シグナル伝達機構の解明」
- 永谷 憲歳 博士 国立循環器病センター
「新規循環調節ペプチドの病態生理学的意義の解明とその臨床応用に関する研究」
- 南学 正臣 博士 東京大学
「SHR 糖尿病自然発症ラットにおけるカルボニルストレスの病態生理学的役割」
- 南野 徹 博士 千葉大学
「血管老化のメカニズムの解明」
- 平成 16 年度 石田 達郎 博士 神戸大学
「HDL 代謝と動脈硬化の成因における血管内皮リパーゼの作用」
- 鈴木 淳一 博士 東京医科歯科大学
「動脈硬化における炎症の関与と遺伝子導入によるその制御：基礎的検討と臨床応用」
- 野上 恵嗣 博士 奈良県立医科大学
「血液凝固第VIII因子の活性化および不活性化機構の解明とその抗血栓療法への応用」
- 野中 英美 博士 神戸大学
「循環器疾患における生体時計の機能解析」
- 平成 17 年度 尾池 雄一 博士 慶應義塾大学
「血管新生因子 AGF の同定と抗肥満・抗糖尿病の新規治療標的分子としての再発見及びその機能解析」
- 王 英正 博士 京都大学医学部探索医療センター
「心臓内心筋幹細胞の発見と臨床応用に向けた新たな細胞療法の開発」
- 新藤 隆行 博士 信州大学
「疾患モデル樹立による循環器病発症メカニズムの解明と治療法開拓」
- 西山 成 博士 香川大学
「腎内局所レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系の制御機構と病態への関与」
- 前田 法一 博士 大阪大学
「脂肪細胞特異的発現蛋白の機能解析」
- 平成 18 年度 岸 拓弥 博士 九州大学
「脳卒中易発症性自然発症高血圧ラット(SHRSP)の頭側延髄腹外側野(RVLM)における一酸化窒素および活性酸素の交感神経活動に与える影響について」
- 谷山 義明 博士 大阪大学
「難治性循環器疾患への新規治療法の開発」

- 中山 雅文 博士 熊本大学
「内皮型一酸化窒素合成酵素遺伝子変異の発見とその機能解析」
- 茂木 正樹 博士 愛媛大学
「高齢者の Quality of Life 改善に向けた他方面的アプローチ
特に神経障害・認知機能障害に対するレニン・アンジオテン
シン系に着目した神経保護・修復機構に関する検討」
- 平成 19 年度 井上 啓 博士 米・ソーグ生物学研究所
「肝臓の糖新生制御における IL-6/STAT3 の機能に関する研究」
- 竹下 享典 博士 名古屋大学
「血管細胞 Notch シグナルの作用と制御」
- 中神 啓徳 博士 大阪大学
「レニン・アンジオテンシン系を機軸とした骨粗鬆症と高血圧
の関連解析」
- 真下 知士 博士 京都大学
「ラット遺伝資源の基盤整備研究および新規疾患モデルラット
の開発研究」
- 水谷 健一 博士 米・ジョンズ・ホプキンス大学
「Noech シグナルによる神経幹細胞の分化制御機構の解明」
- 平成 20 年度 大石由美子 博士 東京大学
「転写因子 KLF5 の翻訳後修飾を介した新たなエネルギー代謝
調節機構の解明と新規治療法開発への応用」
- 親泊 政一 博士 徳島大学疾患ゲノム研究センター
「小胞体ストレス応答の破綻による糖尿病発症の発見」
- 出崎 克也 博士 自治医科大学
「グレリンによるインスリン分泌・血糖値調節機構」
- 徳留 健 博士 国立循環器病センター研究所
「循環調節ペプチドの病態生理的意義の解明およびトランスレ
ーショナルリサーチ」
- 西村 智 博士 東京大学
「生体内分子イメージング手法でみるメタボリックシンドロー
ムに伴う脂肪組織リモデリングと慢性炎症」
- 平成 21 年度 伊藤 浩司 博士 九州大学
「LVH モデルでの脳内 Na ハンドリング異常と交感神経活性に
関する研究」
- 菅波 孝祥 博士 東京医科歯科大学難治疾患研究所
「炎症性メディエータとしての遊離脂肪酸の分子機構の解明と
医学応用」
- 武田宏太郎 博士 九州大学
「低酸素応答系およびレニン・アンジオテンシン系の心血管系
での役割」

- 平島 正則 博士 神戸大学
「内皮細胞分化と血管・リンパ管形成に関する研究」
- 細岡 哲也 博士 神戸大学
「肥満およびインスリン抵抗性発症におけるDok1の役割に関する研究」
- 平成22年度 猪原 匡史 博士 京都大学
「血管性認知症モデルマウスの開発と応用」
- 金澤 英明 博士 慶應義塾大学
「心不全における心臓交感神経から副交感神経への分化転換の意義」
- 曾根 正勝 博士 京都大学
「幹細胞と心血管ホルモンを用いた血管再生・保護治療の探索」
- 平成23年度 植村 明嘉 博士 神戸大学
「網膜血管新生を制御する細胞間相互作用の解明」
- 武田 朱公 博士 大阪大学
「血管性危険因子によるアルツハイマー病病態修飾機序の解明」
- 山本英一郎 博士 熊本大学
「高血圧性血管内皮機能障害の新たな分子機序と心血管合併症における役割についての検討」
- 平成24年度 青木 友浩 博士 京都大学
「脳動脈瘤形成機構の解明」
- 稻垣 肇 博士 東京大学
「核内受容体によるFGF制御とエピゲノムを介した糖脂質代謝調節」
- 藤田 恵 博士 東京大学
「肥満関連高血圧における昇圧機序：中枢性交感神経亢進の原因究明」
- 平成25年度 泉家 康宏 博士 熊本大学
「骨格筋由来分泌因子を介した心血管疾患の制御機構解明」
- 久保田義顕 博士 慶應義塾大学
「腫瘍特異的な血管新生メカニズムの解明」
- 中司 敦子 博士 岡山大学
「VaspinによるVDAC/GRP78経路を介した血管内皮細胞アポトーシスの制御」
- 平成26年度 柴田 茂 博士 帝京大学
「翻訳後修飾および蛋白質相互作用による新規血圧制御機構の解明」
- 堀江 貴裕 博士 京都大学
「心血管代謝疾患形成に関与するマイクロRNAの機能解析」
- 平成27年度 遠藤 仁 博士 慶應義塾大学
「心臓リモデリングにおけるω-3脂肪酸の心保護作用機構の解明」
- 金澤 雅人 博士 新潟大学
「脳梗塞急性期治療に対する血栓溶解療法後の出血合併症の抑

制および脳保護療法」

原 哲也 博士 神戸大学

「新規血栓イメージング法による病態解明と、新規治療戦略の確立」

平成 28 年度 寺尾知可史 博士 米・ハーバード大学

「高安動脈炎の遺伝疫学的解析による病態解明と治療標的の同定」

服部 賴都 博士 国立循環器病研究センター

「血管性認知症、大脳白質梗塞モデル動物の開発とその治療・予防法の開発」

平成 30 年度 遠山 周吾 博士 慶應義塾大学

「代謝制御によるヒト iPS 細胞由来心筋細胞の大量作製とその応用」

村松里衣子 博士 国立精神・神経医療研究センター

「血管系を介した中枢神経系の傷害と修復のメカニズムの研究」

2020 年度 白川 公亮 博士 新潟大学

「肥満と加齢に共通する免疫老化と加齢関連疾患の病態機序の解明」

宮本 潤基 博士 東京農工大学

「腸内環境の変化と宿主エネルギー代謝調節機構の解明」

2022 年度 楠山 譲二 博士 東北大学

「妊娠期運動効果の次世代伝播と子の糖代謝向上効果に関する研究」

丸山 健太 博士 自然科学研究機構生理学研究所

「感覚系と骨免疫系のクロストーク探求から紡ぎだす

『感覚免疫学』」

2024 年度 小栗 靖生 博士 京都大学

「熱産生脂肪細胞による代謝調節と生活習慣病の発症に関する研究」

佐伯龍之介 博士 京都大学

「高齢者におけるクローニング造血の網羅的ゲノム解析と病態解明」